

令和3年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価	
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3			児童重点4
			地域のつながり、地域力を高めるために、	子どもたちのおとなとしての「子育て応援」となり、地域	子育て、子育てを進める	さまざまな課題を解決するために	課題を抱える親子を、早期に見し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために			児童委員制度やその活動の理解を促進するために
1	下関市	中部	○						地区活動を実施する上で、地区住民へ民生児童委員活動の活動啓蒙と、地区民児協委員自身の意識高揚に役立つために、スタッフジャンパーを作製購入した。ジャンパーには「下関市中部地区民生児童委員」の名前をプリントして委員全員に配布した。	【成果】 地区活動をする上で、民生児童委員の啓蒙に役立った。 【課題】 コロナ禍で地区活動、例えば「いきいきサロン」等の機会が少ない。コロナ収束を期待している。	
2	下関市	北部第2						○	①防災マップの作成ゼンリン住宅地図を張り合わせAED・公衆電話・井戸を色分けして災害時に活用する。 ②民生委員・児童委員は、各自65歳、75歳二人暮らし、障がいのある方の色分けで日々の活動の資料として活用する。 ③地図上に色分けをする事で、自身の記憶を促進する。 ④防災マップの作成で地域のさまがわりが見えてくる。	【成果】 民生委員・児童委員の意識改革ができました。 【課題】 コロナウィルス感染対策の為、できない事が多すぎて戸惑いながらの作成でした。(出前講座や防災危機管理課の講演会等やりたいことが全てできませんでした。)	
3	下関市	東部						○	○	計画では、民生児童委員と福祉員との合同研修会を行うことで、地域の組織力の向上に努めようとしたが、コロナ禍の中で集人数が多くなることから研修会の開催をあきらめざるを得なかった。 地区の課題では、平素からの民生児童委員活動の周知が弱いことに加え、戸別訪問活動等を控えたこともあって、活動が停滞した感もある。そのため、民生児童委員活動のアピールをするために、「東部地区民生児童委員」の腕章を作り、身に着けて活動をすることで、民生児童委員活動の周知を図っていった。	【成果】 「東部地区民生児童委員」の腕章を身に着けて、戸別訪問や調査活動、また地域社会活動に参加することは、個人の意識改革と共に、民生児童委員の周知を地域社会に図ることができた。 【課題】 民生児童委員が高齢化して、3年の任期ごとに後継者不足が言われ、自治会長が民生児童委員を兼ねるといった事例が多く出てきている。民生児童委員としての活動は特殊なものではないが、福祉面だけではなく、生活全般にわたる相談役、地域と行政をつなぐ役として必要な仕事である。活動を周知していくことで、福祉活動をより深く推進し、今後、民生児童委員へのなりて不足をどう解消していくかが、大きな課題である。
4	下関市	北部第3	○							可能ならば、防災施設や養護施設及び老人施設等で研修を望んでいたのですが、際限なく続く新型コロナの中、最終的に我々が日常的に活動することのできる「手提げバック」をもって地域の活動に活かす次第です。	【成果】北区民生委員名の入ったバッグを利用することで、委員に対し、話しかけがやさしくなる気がする。 【課題】委員も年齢が多い人が大半になり、コロナのような今が難しい時は、纏まって動くことは問題であると思う。

令和3年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、子育て支援となる	子育て、子育てを支援する	さまざまな課題を抱えている	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させるために	児童委員制度やその活		
5	宇部市	西岐波		○				○	<p>当初計画では、「みんなで朝ご飯」として、月2回×6か月=12回で計画案を作成していたが、朝食は作るにも、食べてもらえる場所にも難点があることから断念し、「みんなで日曜日の昼ご飯を一緒に」へと変更</p> <p>また、子ども食堂実施に際しては不安要素が多かったため、まずは、1回目を実施し、その結果をみて2回目以降をどうするかみんなで協議することとして実施することとなった。</p> <p>実施内容 日時:11月21日(日)午後1時30分から 場所:西岐波ふれあいセンター 参加者数:85人のうち子ども42人 内容:12時から参加者が一緒に食事開始し、12時30分からお楽しみタイムとして、クジ引きで楽しんだ。クイズやクジ引きの景品は、有志の方から寄付いただいたお米やお菓子を使用。13時に閉店し、帰り際にアンケート調査。</p> <p>その他:地域の自治会の班回覧を活用しての宣伝や幼稚園・小学校・中学校への宣伝に加え、地元新聞社が前日の20日に開催案内の記事から、参加者数が当初見込みを大幅に上回るような参加者数であった。子ども食堂実施のため、地区民児協委員は、事前に試作・試食会を開催。前日には調理の準備をそして当日は早朝より調理に取組み100食を用意した。</p> <p>アンケートからの声 ①楽しかった②美味しかった③次回も参加したいとの声が多く寄せられ、また、「栄養のバランスも考えられた内容で美味しかった」「久しぶりに楽しんだ」などの声寄せられた。</p>	<p>【成果】事業を実施する前は、①果たして何人ぐらいが参加してくれるのか②参加された皆さんが喜んでくれるのかどうか…等々の不安があった。また、開催する側の委員も高齢であり、果たして何人が具体的に作業協力がいただけるのかどうかの不安があった。しかし、みんなで協力して取組んで実施した結果、85名の参加者から①美味しかった②楽しかった③次回も参加したいとの声や、地域の多くの有志の皆様から多くの支援や寄付が寄せられ、これら状況を目の当たりにし、委員の苦労も吹き飛んだ様子。</p> <p>初めて取組んだ「子ども食堂事業」であるが、その呼びかけに応えてくれた地域のそれぞれの人の思いの中に地区民児協からのメッセージが伝わったものと評価している。</p> <p>また、本事業への取組が契機となって、当地域に「子ども食堂」の灯が付いたものと評価している。</p> <p>【課題】今回は、初めての取組みで、かつ、時間的な余裕のなさから、ややもすると上意下達的な取組となり、みんなで話し合っ取組むという基本的なところは疎かになっていた面は反省点である。</p> <p>また、高齢委員が多いため、委員への負担軽減を図るために外部からの運営スタッフと併せて、協力企業をどう求めていくかが今後の課題。</p>	
6	宇部市	東岐波	○		○				<p>・母子推進協議会主催の行事「ピコピコランド」に協同参画した。今回、赤ちゃんを横にできる大きいマットを提供した。児童育成、子育て支援を推進すると共に、地域のつながりに努めた。</p> <p>「実施日時・参加人数・実施内容」 5月、7月、10月、12月、2月(第2木曜日)10時から11時 25組の親子が遊びながらとお母さん方のコミュニケーション作り ・地域の「いきいきサロン」に協同参画し、高齢者の食事、座談会の運営、進行し、参加者相互の親睦・交流を図り、住みよい地域づくりに努めた。 11月28日(日)35名(9時～13時)、3月6日(日)45名(9時～13時)</p>	<p>【成果】子育て・子育て中の親子及び高齢者の方々とはより親密な関係が結べ、多少なりとも地域のつながり・地域づくりに寄与できたかと思う。</p> <p>【課題】コロナ禍の関係もあり、参加者に制限があり、所期の目的達成には及ばなかった。</p> <p>今日の社会現象と思われる地域住民間の希薄な関係性を背景にして、民生・児童委員の活動が地域づくりにどれだけ寄与できるか甚だ疑問であるが、地道にこのような活動を継続するほかないと思う。</p>	
7	山口市	徳地			○				<p>①7月1日丸久徳地店にて、民生委員PRチラシ等を配付し、民生委員活動のPRを行った。(民生委員参加者数7名) ②7.8月の訪問活動時に見守りが必要な対象者等に、民生委員PRカード等を配布し、民生委員活動のPRを行った。(民生委員参加者数31名) ③8月地区民児協定例会にて、地元ケアマネジャーに研修を依頼するとともに、情報交換を行った。(民生委員参加者数28名、ケアマネジャー4名)</p>	<p>【成果】PR活動により、徳地地区の方に広く民生委員活動を知ってもらうことができた。また、見守りが必要な対象者にも、民生委員の役割について伝えることができた。</p> <p>【課題】コロナにより、これまでの訪問活動が難しい状況であり、今後どのように見守り対象者へ接触していくか、方法を考える必要がある。</p>	

令和3年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価	
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3			児童重点4
			地域のつながり、地域力を高めるために、地域	の子どもたち「身近な子育て」の支援となる	する地域づくりを進める	たさまざまな課題を	課題を抱える親子を、早期に見守り、支える	民生委員・児童委員制			児童の理解を促進するために
8	山口市	陶			○					<ul style="list-style-type: none"> ・民児協自主勉強会 令和3年2月2日(水) 参加者10名 成年後見制度と仕組みについて ・民生委員、福祉員合同研修会 令和3年6月23日(水) 参加者22名 地域での見守り訪問活動について 	<p>【成果】見守り訪問活動上での問題点等を福祉員と情報交換でき大変良かった。</p> <p>【課題】民生児童委員として処遇困難事例等活動上の問題を全員での検討会の開催。今後福祉の専門員として業務知識の更なる向上を目指す必要を感じました。</p>
9	山口市	白石			○					<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成会について研修 10月13日(水)10:00～12:00 白石地域交流センター 参加者19名 白石地区子ども会育成会長及び西糸米子ども会育成者より、現状や活動、課題等について話をきく。 ・クリスマスお楽しみ会(ミニツリー、リース作り他) 12月19日(日)10:00～12:00 白石地域交流センター 参加者:児童15名、民生委員児童委員14名 参加者と一緒にミニツリー、リースを作り、その後、民生委員によるマジックショーで児童との交流を図る。 	<p>【成果】・子ども会育成会の実態を知り、減少した原因を考える機会となった。</p> <p>・子ども会をはじめ、地域の子どもたちと関わる機会が殆どなく、地域の子どもたちを殆ど知らないことが分かった。</p> <p>・クリスマス会をすることで、地域の子どもたちと接する機会ができた。</p> <p>【課題】環境の変化や、役員の負担の大きさ等により、本来地域の中で子育てに大きな役割を果たした子ども会がなくなりつつあり、それに代わる地域でできる子ども達に育成や居場所づくりの必要性。</p>
10	防府市	新田						○	○	<p>地域住民の身近な相談相手として、委員の活動が十分に理解され周知でき認識してもらえるよう積極的なPRを行う。行政及び福祉施設従事者の退職情報等を 関係機関から入手して、地域での後継者発掘の体制を整える。主任児童委員を学校評議員会の委員として参加してもらい、学校からもこの制度を子どもたちにPRしてもらおう。学校評議員会は年6回。そして毎月定例会(第2土曜日午後1時から)の協議会にて16名で話し合った。</p>	<p>【成果】令和4年12月の改選時、5地区の委員が交代を希望している中で、昨年より「なり手」の発掘が重要課題になっていた。地区住民に対して行った各家庭への民生委員・児童委員のパンフレット配布は委員の職務についてある程度周知することができた。</p> <p>【課題】民生委員・児童委員の職務は多岐にわたるため、一度なると、退任する時に後継者を自ら探す必要もあり、なり手が少ない。行政はこの問題を強く認識しないと、続かないと思う。</p>
11	萩市	椿東							○	<p>民生委員児童委員活動を円滑に行うため、現任委員分の手提げ袋を購入</p>	<p>【成果】活動のための備品を購入したことにより、少しでも各委員の意識の向上につながり、円滑に活動を行えるようになったと感じる。</p>
12	萩市	見島	○	○						<p>交通安全立哨(参加者 6名) (春)4月8日～4月15日 (夏)7月12日～7月20日 (秋)9月21日～9月30日 (年末)12月10日～12月24日 春・夏・秋・年末年始の交通安全運動の期間中、児童生徒の登校時の交通安全立哨を行うため、ユニフォームを購入し、着用して活動を行った。</p>	<p>【成果】新規に民生委員・児童委員のユニフォームを購入・着用し交通安全意識の向上とともに、地域住民に対するイメージアップにもつながった。また、教員・駐在所・交通安全協会との合同実施により、民生委員のカラーイメージが発揮できたことは良かった。</p> <p>【課題】コロナ禍では、地域行事が平常通り実施できなかったが、正常に実施可能となれば一致団結して、様々な行事で着用し、更なるイメージアップを図りたい。</p>
13	岩国市	美川							○	<p>地区民児協は、社協の共同募金事業に協力するため、イベントに出店した売店の収益を募金している。この売店で使用する電気フライヤー1台を購入し活用することで売り上げを増強し募金額を増やす。例年のイベント(サマーフェスティバル、ふるさとまつり)は中止となったが給食ボランティアの調理にこれまで3回活用している。</p>	<p>【成果】新型コロナウイルス蔓延防止措置によりすべてのイベントが中止となり、イベントでの使用ができなかったが、給食サービスにおける調理で活用している。イベントが再開されれば活用したい。</p> <p>【課題】地域人口が減少する中、自治会募金は先細りする一方であり、他の募金獲得策の強化が必要となる。</p>

令和3年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3		
			地域のつながり、地域力を高めるために、地域	「子どもたちの「身近なおとな」となり、地域の子どもたちを支援する」	子育て、子育てを支援する地域づくりを進める	さまざまな課題を支援するために	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させるために	児童委員制度やその活動の理解を促進するために	
14	岩国市	本郷		○		○			<p>(児童重点1)学校で民児協の月例定例会(年3回)を実施することで、児童・生徒、学校とのつながりを深めていくと共に、授業参観を通じて子ども達に親しみの持てる身近な民生委員となり、地域子育て活動の一貫性となる。</p> <p>実施日 令和3年7月14日 9:30～ 本郷小中学校 参加者 7名 令和3年10月13日 9:30～ 本郷小中学校 参加者7名 令和4年1月12日 9:30～ 本郷小中学校 参加者6名</p> <p>(重点2)ボランティア連絡協議会事業の80歳以上の独居老人へのお弁当配達(月1回)に民生委員として、協力参加を目指し、様々な課題を抱えた人に安らぎを与え、生活状況を把握していく活動に結び付ける。</p> <p>実施日 令和3年4月13日 11:00～ 本郷町全地域 実施者 4名 令和3年5月11日 11:00～ 本郷町全地域 実施者3名 令和3年10月11日 11:00～ 本郷町全地域 実施者4名 令和3年11月12日 11:00～ 本郷町全地域 実施者3名 令和3年12月14日 11:00～ 本郷町全地域 実施者4名 令和4年3月8日 11:00～ 本郷町全地域 実施者 3名</p>	<p>【成果】コロナ感染症予防対策の中、活動事業を行うにあたり、悩んだりしましたが、本郷小中学校の絶大な協力もあり、児童生徒との繋がりが心を通い合いができたと考えます。月1回ですがコロナ禍で中止しなければならぬ月もありましたが、6回実施することができ、独居者に心の安らぎを感じる事ができて良かったと感じています。</p> <p>【課題】若者が少なく、高齢者の多い地域で、民生委員は地域の数多くの役員・福祉機関・団体の要請を受け、自分の時間が取れない状況をどう克服するか。</p>
15	岩国市	錦		○					<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校公開(6/7-6/18 15名出席) ・学校周辺環境整備(7/9, 11/19, 12/13 19名参加) ・小中学校長との懇談会実施(8/5 21名出席) ・小学校学習発表会出席(11/13 8名出席) ・山口大学講師講演会の開催(11/22 15名出席) ・中高合同防災訓練出席(11/30 8名出席) ・人権研修会出席(12/10 7名出席) ・小中学校生徒指導協議会出席(2回/年 2名出席) ・小中学校運営協議会出席(3回/年 4名出席) 	<p>【成果】・民生委員が学校行事に積極的に参加するようになり、情報の共有が進んだ。(先生や生徒、父兄とのコミュニケーションが活性化している)</p> <p>・学校の運営委員会や生徒指導協議会他の会議に出席し学校への提案もより早くできるようになり、改善が進む体制が確立した。</p> <p>【課題】・学校行事への出席や支援、校長先生や教頭先生とのコミュニケーションは行っているが、日常的に教職員と連携していける体制作りが必要である。</p> <p>・子育ての悩み解消支援体制作りが必要である。</p>
16	光市	第6	○					○	<p>清掃ボランティア 日時: 令和3年7月、令和4年3月(計2回) 令和3年12月は雨天にて中止 参加者: 生徒206名、教師6名、民生委員・児童委員18名(計230名) 実施内容: ボランティア活動の報告会及び懇親会 令和4年6月4日大和コミュニティセンター ホールにて開催 (下松kビジョンにて取材・放映)</p>	<p>【成果】生徒の自立性、地域の貢献</p> <p>【課題】現在は中学生だけで行っているが、今後は小学生並びに地域住民にも声を掛けて取組んでいきたい。</p>

令和3年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、支援となる	子育て、子育てを進める	さまざまな課題を抱える人びとを支援するため	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させるために	児童委員制度やその活動の理解を促進するために		
17	長門市	日置	○	○	○					<p>①児童との交流行事参加～地域づくり・児童見守り ・しめ縄づくり(日置小学校児童との交流)12月14日 事前研修(5名)/12月23日 協力参加(5名) ・どんと焼き(日置地区内児童及び保護者との交流)1/8協力参加(10名)</p> <p>②障がい児通所支援事業施設訪問～福祉施設との連携 10/26、11/4 放課後デイサービス「くろみ」訪問視察(4名/3名)</p> <p>③登校時安全見守り活動～地域づくり・児童見守り 毎月始め、25日、随時 年間延べ16名/3回</p> <p>④地区内遊具点検～児童見守り(7/13 5名)</p> <p>⑤小学校・中学校・保育園訪問～学校・保育園との連携強化 7/15 日置保育園・日置小学校・日置中学校(1名) 7/29黄波戸保育園・神田小学校(1名)</p> <p>⑥学校行事・会議等への参加協力～学校・保育園との連携強化 計23回 文化祭・卒業式・持久走大会補助・遠泳大会補助・授業参観・ユニット型研修・学校運営協議会</p>	<p>【成果】児童・保護者・地域住民参加行事への協力参加 ・社会教育・学校教育等の場に協力参加し、児童、保護者、学校、地域等とのコミュニケーションを図った。 ・地区内障がい児通所支援事業所 放課後デイサービスくるみ施設訪問実施 市内でも他にない事業施設であり、機関連携として有意義であった。 ・児童登校時立哨や、遊具安全点検を行い、児童の見守りを行った。 ・全員での学校・保育園訪問、学校行事参加計画していたが、コロナ感染対策の下、計画変更し、少人数訪問・会議行事参加とし、情報共有を行った。 【課題】コロナ禍でも見守りやケアが途切れぬよう、感染対策を強化し、事業実施したが、制限される場面が多く、今後も手法や対策を考えていく必要がある。</p>
18	柳井市	伊陸		○	○					<p>小学校・公民館・出張所機能を集約した柳井市立伊陸小学校の新校舎(公民館併設)が令和2年9月に完成した。 伊陸地区民生委員児童委員協議会は、新しくなった伊陸公民館で毎月第2金曜日に定例会を開催しており、伊陸地域が抱える様々な課題の解決に向け、情報交換と研修を重ねながら活動をしている。伊陸児童クラブは、同じ伊陸公民館内に設置されており、現在20人の児童が登録している。 児童クラブを利用する児童、支援員とは同じ公民館を使用していることから交流があり、支援員からは「伊陸児童クラブには、黒板がないので、児童に勉強を教える時には、ポスターや模造紙を利用しているが、書き換えができない等不便があるので何かいい方法はないだろうか」との相談を受けた。 その相談を受け、定例会で協議したところ、委員からは「地域の宝である児童のために、伊陸地区民生委員児童委員協議会としてできる限りの協力をしてあげたい。、今後の管理を考えると、黒板よりホワイトボードをプレゼントしてはいかがか」との意見が出た。 児童クラブの支援員にホワイトボードの設置を提案したところ「本当にありがたい。ぜひお願いしたい」との回答があったので、直ちに柳井市教育委員会、伊陸小学校、児童クラブの児童、支援員を交え、ホワイトボードの設置場所、大きさ等について検討した。児童クラブの支援員からは、「ホワイトボードは可能な限り大きい方がいい。」と意見があったので、その意見を取り入れたホワイトボードを設置した。</p>	<p>【成果】設置に際し、支援員や児童との打合せを重ねることにより、お互いが近い存在として認識でき、今回のホワイトボード設置をきっかけに、児童クラブの行事に伊陸民生委員・児童委員が補助員として参加するようになった。 また、顔の見える関係を築くことができたことにより、伊陸小学校にも気軽に訪問ができるようになった。 【課題】伊陸地区の出生数が初めて「ゼロ」となり、少子高齢化がますます顕著となった。</p>

令和3年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、「子育て応援団」となる	子育て、子育てを応援する地域づくりを進める	さまざまな課題を支援するために	課題を抱える親子を早期に見え、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させるために	児童委員制度やその活		
19	美祢市	伊佐							○	<p>・「福祉員との連携」地区社会福祉協議会の研修会をコロナ禍のため、各地区に出前方式で7月17日～7月25日の土曜日、日曜日に5会場で開催した。民生委員12名、地区社協役員10名、福祉員51名、研修の後、民生委員と福祉員の懇談会で、気になる住民の見守り等意見交換を行い、連携を密にした。福祉員と共に担当地区の要支援者宅を訪問し、何か気になることがあれば連絡し合う体制を構築した。</p> <p>・定例会において、月次ごとに委員より事例発表を行った。様々な課題に真摯に向き合う委員の姿に共感を覚え、意見を交換して、問題等を共有した。</p> <p>・民生委員活動を地域に積極的にPRする広報媒体「委員制度紹介パンフレット」を全戸配布した。</p>	<p>【成果】今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか、福祉員との連携、定例会での各委員との情報共有ができた。地域の要支援者から「ありがとう」と言ってもらえると「ほっとする」とある委員が言っていたが、その通りです。</p> <p>【課題】改選の年を迎え、民生委員のなり手不足があります。積極的にPR活動等をして、理解を深める必要があります。</p>
20	周南市	遠石	○		○					<p>1 いきいきサロン 8/19(水)午前・午後遠石市民センターでクッキーづくりを体験する予定で計画したが、直前になり新型コロナウイルスの拡大により公共施設の使用ができなくなったので、中止することにした。後日、先生のご厚意により参加親子全員にクッキーを作っていたので、先生の自宅に取りに来るよう連絡し民児協も協力して全員に配布した。</p> <p>・詐欺防止キャンペーン 令和4年3月に最近の詐欺の手口を簡易書きにし電話やメールで未払い金があるので、指定の番号に返信するような連絡があった場合は絶対に連絡しないことを民児協と福祉員で分担して見守り対象者約360人の自宅を訪問し、チラシは目立つ黄色の用紙に大きめの文字で作成した。チラシとごみ袋と一緒に配り分からないようなことがあれば、民児協や福祉員の手に連絡するようお願いした。 参加者：民児協16人、福祉員48人、70歳以上一人暮らし358人</p>	<p>【成果】1 いきいきサロンは中止になったが、後日クッキーを配った際、来年もぜひ参加したいと言われ、民児協としても苦労して計画した甲斐があった。</p> <p>2 詐欺防止キャンペーンは自宅を訪問し詐欺の手口を説明したが、登録した番号以外は出ない等皆さんが意識して防衛策をこうじているのが分かり安心した。</p> <p>【課題】1 いきいきサロン：新型コロナウイルスの状況を見ながら今年も計画したい。</p> <p>2 詐欺防止キャンペーンは、遠石地区は意識も高く安心したが、啓蒙活動は今後も継続する。</p>
21	周南市	夜市	○						○	<p>1 地区安心生活応援隊への協力隊員(サポーター)の増員を図る。(地区民児協と安心生活応援隊が地域住民の困りごとニーズを共有する)</p> <p>2 隊員のユニフォームを揃えるための経済的援助を実施する。(協力隊員30名分のロゴ入りスタッフジャンパーの購入資金の支援)(応援作業に必要な清掃道具等消耗品の資金支援)</p> <p>3 活動状況を広報することで利用会員の増員につなげる。</p>	<p>【成果】</p> <p>1 協力隊員と民生委員が情報共有することで協働意識がより強いものとなった。</p> <p>2 隊員が揃いのユニフォームで作業をすることで地域への存在アピールができた。</p> <p>3 協力会員及び利用会員の増員につながる事が期待できる。</p> <p>4 地区民児協から4名が協力会員として登録した。</p> <p>【課題】</p> <p>1 コロナ感染拡大防止のため、生活応援活動は限定的なものとなった。</p> <p>2 利用会員が増えていないことから、広報活動がまだ不足している。</p>
22	周南市	須金	○	○					○	<p>重点① 小学校行事に積極的に参加 月1回の交通立哨(朝の通学時間) 地区盆踊りの練習</p> <p>重点② 社会的弱者、認知症の人の見守り 困りごとの助言</p>	<p>【成果】子どもたちは少数なので顔見知りが多く、元気にあいさつしてくれる。子どもたちとのふれあいは、私達も楽しい</p> <p>【課題】重点②は、少し成果はあるが、不安定な人は解決に至らない 今後どうしたら良いか悩む時もある。</p>
23	山陽小野田市	第1	○	○						<p>毎月行うあいさつ運動及び下校時の見守りの中で、以下の日程で通学路の危険個所の洗い出しを行った。 令和3年10月25日(参加者19名) 令和4年1月25日(参加者15名) 3月25日(参加者17名)</p>	<p>【成果】地域と子ども、学校の状況把握、連携強化の足掛かりとすることができた。また、児童委員としての自覚と意識の変化が見られた。</p> <p>【課題】新型コロナウイルス蔓延防止措置の解除を待っての活動となり、前半期は思うような活動が行えなかった。後半の活動をもとに、地域・学校との連携をとりながら活動を継続していく。</p>

令和3年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、地域の子育て応援となる	子育て、子育てを支援する	さまざまな課題を抱える人びとを支援するため	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために	児童委員制度やその活動の理解を促進するために		
24	周防大島町				○	○			民生委員・児童委員、主任児童委員、町家庭児童相談室の紹介カードの作成し、令和4年3月に4地区主任児童委員を中心に、町内小中学校、保育園へ赴き、PRとともに新年度児童・生徒への配布を依頼。 ・カード作成枚数 1,000枚 ・配布先 小学校 9校 児童数396人 中学校 2校 児童数203人 保育園11園 児童数253人	【成果】Aサイズ等のチラシではなく、携帯しやすいサイズの紹介カードにすることで、対象者が保管しやすくなりよりPR効果が得られる。 【課題】紹介カードの配布だけでは受け身のみとなるので、声掛けなどと併せた活動が必要である。	